

年 組 名前：



オランジュさんはフランス北部のルーアン市出身。2019年8月から5年間の任期で国際交流員を務めている。現在、フェイスブックとインスタグラムに日仏英の3カ国語で市にまつわる話題を掲載している」といい、最近では正

仏出身・国際交流員

SNSにイベント情報

甲府市国際交流員のフアンニ・オランジュさん(28)は会員制交流サイト(SNS)や写真共有アプリを使い、市の季節の話題やイベント情報の発信に力を入れている。同じ外国人の目線から、ニーズが高いと考える情報を意識的に掲載。続けるうちに、写真へのこだわりも出てきて「伝える仕事にやりがいを感じている」と話す。国際交流員の任期は残り1年余り。「海外に向けて甲府の認知度を上げられるようにしたい」と語る。

〈杉原みずき〉

市の魅力外国人目線で

る。オランジュさんは現在、山梨日日新聞で「お・も・て・な・しフランス語」を連載している。

ノ木祭りや金桜神社の例大祭などを紹介した。就任後にSNSを始めて以降、写真はスマートフォンで撮影していたが「やればやるほど面白くなって、構図にもこだわりたくなってきた」という。昨年、一眼レフカメラを購入。「甲府に来るまでは興味なかった写真が趣味になった」と笑う。出身地には身近に山がなかったが、来県してからアウトドアも好きになり、富士山や瑞牆山、金峰山などにも登った。「自然がきれいな甲府が気に入っている」と話す。国際交流員としては、姉妹都市などとの連絡調整や通訳を担い、学校や市民講座でフランス文化を紹介している。コロナ禍で縮小を余儀なくされた業務もあるが、残りの任期を「甲府の魅力を伝えながら、海外との交流が深まるように活動したい」と話している。

バラの名所取材するフアンニ・オランジュさん
＝甲府市内

(2023年5月23日付 山梨日日新聞15面)

問1

フランス出身のオランジュさんは、どのような方法で、海外に情報を配信していますか。

.....

問2

オランジュさんは、どのような情報を配信していますか。

.....

問3

あなたが、山梨を海外の人に紹介するとしたら、何をどのように紹介したいですか。

.....

.....

.....